



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を！



百聞は一見にしかず

6月議会を傍聴して来ました。今まで辻さんの議会報告会に参加したり、他の方から議会の様子を伺ったりして、一度は自分の目で見てみようと思いつつ、なかなか都合が合わず、今回ようやく傍聴席に座れました。

百聞は一見にしかず。辻さんが、用意した資料を使って一つ一つ丁寧に問題を掘り下げ、他市の状況を調べて具体的な提案をしたり、以前より問題とされながら先送りされている事案を指摘し、追及する姿を見て、本当に議員として素晴らしい仕事をされているのが分かりました。それにしても、その辻さんの質問に対する答弁的的外れなこと！ 言い回しは立派でも内容が薄いこと！ 残念でなりません。

もう一つの収穫は、議会だよりやネット配信では分からない議場の雰囲気を経験した事です。こちらを向いて並んでいる市長始め市の要職に就く方々の姿勢。これは私達市民に対する姿勢そのものと考えて良いでしょう。それから、こちらの傍聴席に背を向けて座っている議員さん達の態度。この人達を議場に送り込んでいるのは、私達市民なのですね。本当にいろいろ感じ、考えさせられた1時間余りでした。

私は旧五日市に生まれ育ち、地元の人と結婚し、あきる野市ですと暮らしてきました。何かすれば必ず昔からの知り合いや親類につながってしまうような中で、長い間、おかしいこともおかしいと思わず、間違ったこともここではそういうものだと思込み込んで波風を立てず生活してきたと思います。今回の辻さんの議会に臨む姿勢に勇気づけられました。(U・E 小中野在住)



初めて議会を傍聴して

以前からずっと傍聴したいと思っていたところ、同じように興味のある人と予定が合い、今回やっと傍聴することが出来ました。

議場の第一印象は「とっても神聖な場所」でした。このホールであきる野市の未来が決まっていくんだ…と身震いするような気持ちになりました。入口に一般質問の資料があり、質問の内容がわかるようになっていたので、途中からでも議事の様子がありました。

議員の方々は事前に質問を考え調べた上で議会に臨み、市職員も答えをあらかじめ用意していてスムーズに議事が進んでいくようにみえました。ただ、質問は多岐にわたり、その都度、担当部署の職員が答えていましたが、何度も行き来する場面があり、効率が悪いと感じました。職員は質問されたことだけに答え余計なことは言わないようにと指示されているのでしょうか？ そんな風に思いました。

また、静かに議事が進んでいくので、もしかしたら寝ている？という議員さんもいたように思います。自分の質問の時は頑張るけれど、他の議員さんの質問はどうでもよい…そんな議員さんもいるのかなと感じました。ただ、私が傍聴したのは、ほんの数時間でしたので、日によっては討論になる事もあるのかもかもしれません。

いずれにしても、議員さんが張り切って質問し、市職員さんは市ではこんな取り組みをしています！とアピールできるようなそんな議会になったらいいなと思いました。そして、傍聴に行くことが特別の事でなくみんなが議会に行くと普通に話題に出るようになるといいですね。(E・H 三内在住)

私たちの心を勝手に代表しないで 天皇即位賀詞に関する審議を傍聴して

今国会で天皇即位賀詞に関する決議が衆院、参院共に全会一致で可決された。この決議は、「天皇陛下におかせられましたは」に始まり、「ご即位されましたことは誠に歓喜に堪えない」「令和の時代が悠久の歴史に新たな希望と光を添え」と続き、最後に「国民を代表して謹んで慶祝の意を表します」と結ばれる。

あきる野市議会でも自民党志清会からほぼ同様の議案が提出されることを知った市民が、「私たちの心を勝手に代表しないで」とのメッセージを出すと聞き、私も個人として参加させてもらった。私は以前から結婚したら世継ぎの男子を産むことを強制されるような制度はおかしいと思っていたし、歴史的な問題や信仰の問題、人それぞれ違う思いを無視しての今回の「祝意」に違和感を持った。勝手に束ねられたくない、そう思った。

結局市議会で反対したのは辻さん一人（歩む会HPに掲載）で賛成多数で議案は可決されたが、会派明るい未来をつくる会のA議員から、「市民を代表して」を「あきる野市議会は」とするなど当初の文章に修正を加えての賛成と発言があった。辻さんを始め、共産党の議員からも市議会としての決議にそぐわないなどの発言、質問があったが、自民党志清会の提案議員の答弁は誠意を持ったものとは思えず、傍聴していて議論せず多数で押し切るという傲慢な態度が見え失望した。

先日、青梅市議会で同様の審議が行われた際、棄権するため退席しようとした議員に傍聴席から「非国民！」との野次がとんだという。多数意見を押し付ける社会は恐ろしい！「小さな声に耳をすまし」の大切さが心にしみる。
(A・M 小川東在住)



立ち止まる勇気が必要だ 引田の区画整理事業は見直しを！



6月議会、引田区画整理事業の補正予算が、自民・公明の賛成で承認されました。国や都からの補助金が25%減らされたため、それを一般財源と市債（借金）で補うというものでした。減らされた理由ははっきりしないようですが、鉄道の立体交差事業に回されたのではないかとのことです。辻さんの「来年度は8億以上の補助金を予定しているが、それも減らされる可能性があるのではないか」との質問に、市側はその可能性を認め、資金計画を見直すと答弁しました。

補助金を当てにした大型公共事業、バブル景気の時代の計画をそのまま進めていくという無理が、地元の人たちにも混乱を招き、市の財政をさらに苦しめているのです。国だって、膨大な借金を抱え、限られた予算の中で優先順位をつけて予算を組んでいるはず。自民党のH議員が、地元の国会議員や都議を通じて予算を取ってくるようにという発言をしましたが、古い自民党政治そのまま、あきれてしまいました。

矛盾や無理が次々と出て来る区画整理。早く進めてほしいという人もいますが、今でも納得できない地元の人もあるし、先行きも不透明なものですから、一度立ち止まって考え直してみる必要があるのではないのでしょうか。進行している事業を止めるのはなかなか難しいけれど、様々な問題がある以上、立ち止まる勇気が必要です。市は、情報をきちんと市民に知らせ、より良い解決策を探してほしいと思います。(S・K 高尾在住)



無所属
一人会派

辻よし子・プロフィール



1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で市議に当選。現在、2期目。草花で、夫と高3の次男、ネコ1匹と暮らす。

